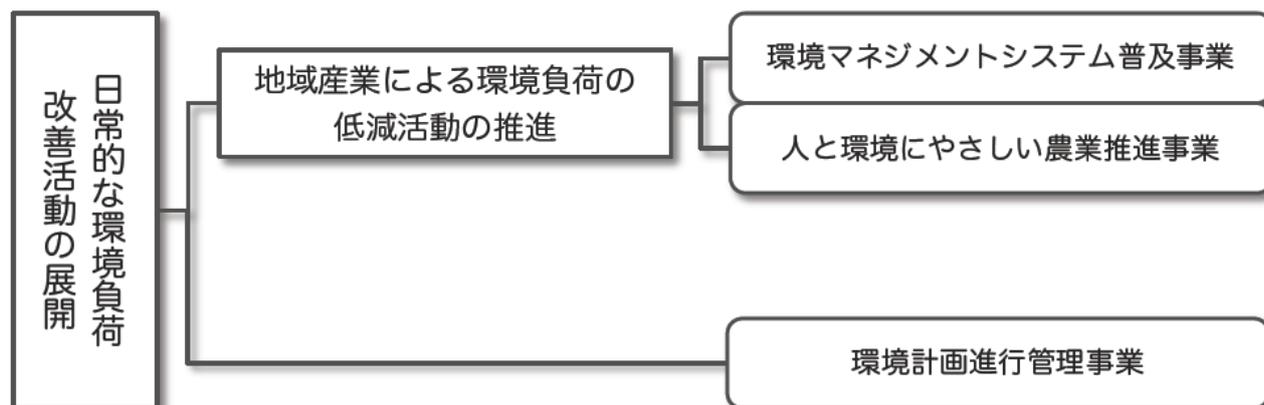


## 基本施策6 環境にやさしい事業活動の推進

### 1 施策の柱と事業の構成



### 2 施策指標の達成状況

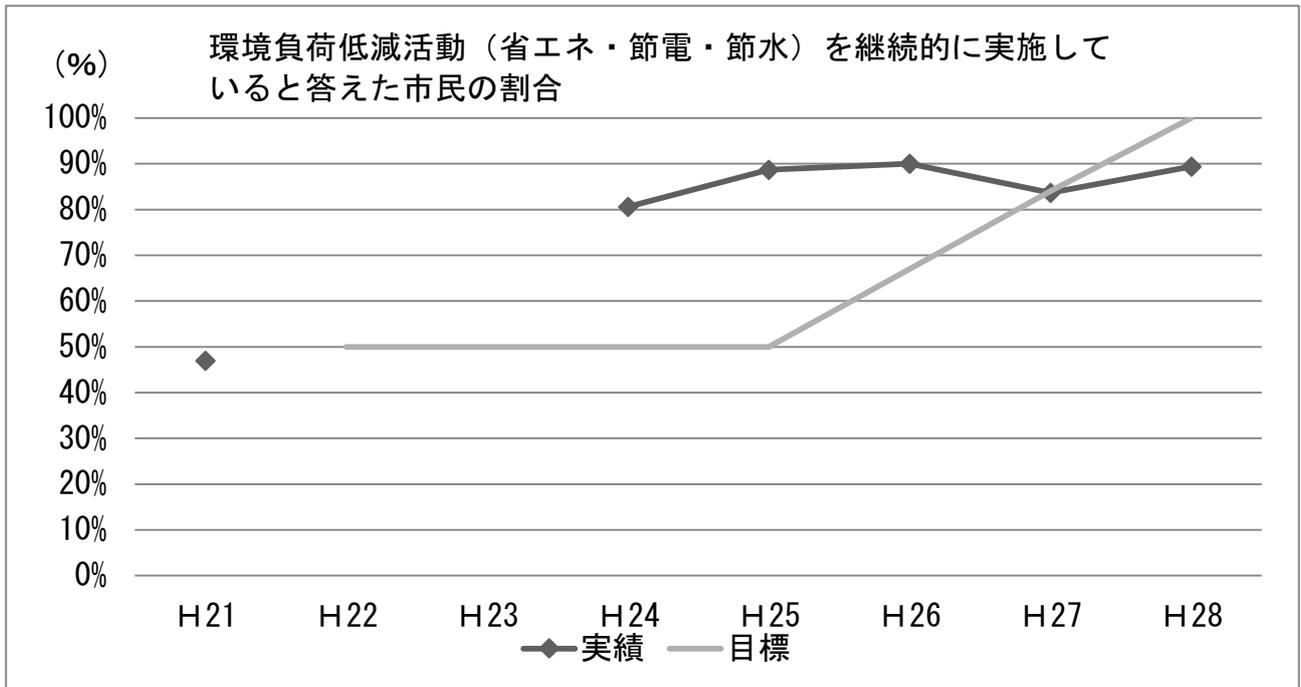
施策指標	単位	H22年度 実績	H28年度 実績	H28年度 目標	達成 状況
環境負荷低減活動（省エネ・節電・節水など）を継続的に実施していると答えた市民の割合	%	47.0 (H21)	89.4	100.0	×
環境マネジメントシステムに取り組んでいる事業者数	者	170	205	200	◎

達成状況 ◎：目標達成で、改善傾向

○：目標達成で、横ばい又は悪化傾向

△：目標未達成だが改善傾向

×：目標未達成で、横ばい又は悪化傾向



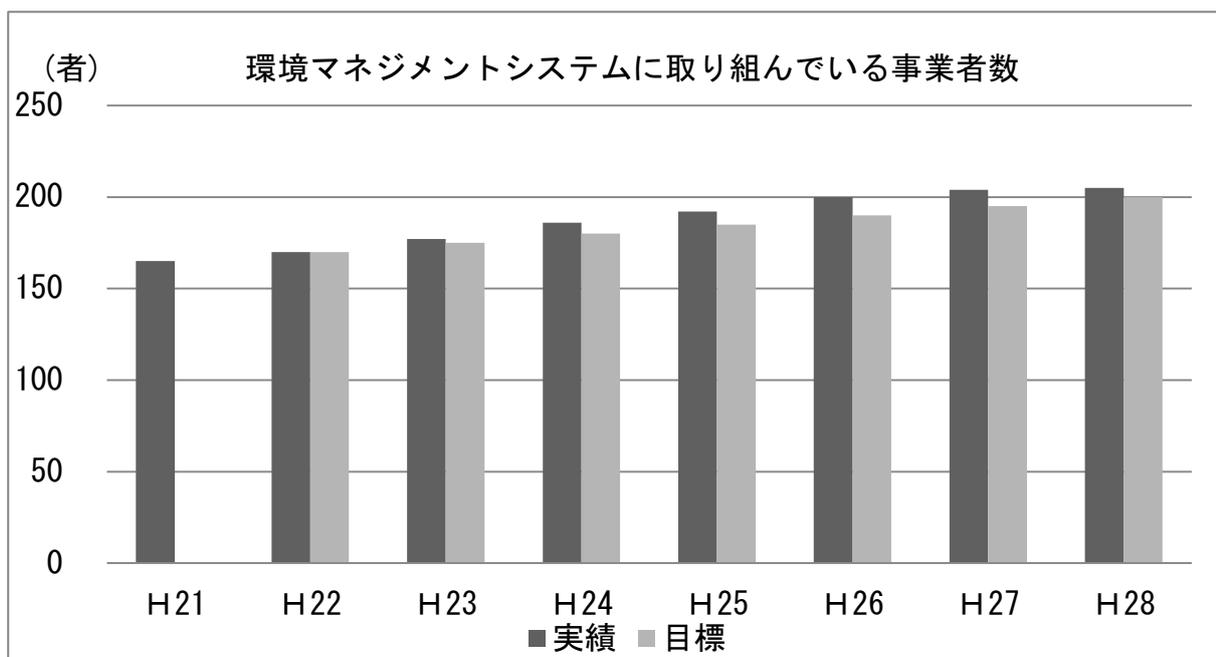
平成 24 年度から、市民アンケート調査の中で、省エネや節電（エコドライブ、節水、風呂の残り水利用、不要な照明を消灯、待機電源 OFF、節電機器・省エネ型機器の利用など）を心がけ実践しているか、という質問項目を設けていますが、当時から多くの市民が取り組みを行っています。これは、東日本大震災の影響による節電意識が急速に高まっていたことに加えて、「環境負荷低減活動」という分かりにくい言葉に、省エネ・節電等の例示を示したことによるものと考えられます。そのため、現在は、飯田市に居住する方全員が環境負荷低減活動を行う状況を目指す形で目標の上方修正を行い、同内容について毎年の傾向を継続調査しています。

その後のアンケート結果を見ても、環境負荷低減活動を継続的に実施されている市民の割合は 80～90%であることから、依然として多くの方が日常で環境負荷低減活動に取り組んでいる傾向が分かります。

一例として、実際の飯田市内の電力消費傾向を見てみますと、平成 24 年度・25 年度をピークにその後は減少傾向を見ることができます。これは、家庭に設置された太陽光発電によるエネルギーの利用をする方が増加していることや人口が減少傾向にあることも一因としてあると思われますが、大半は何らかの形で省エネ・節電等を行っている市民や企業が存在していることに起因していると考えられます。

しかし、取り組みの実績は高いものの、増加傾向にはないことが課題として挙げられます。

今後は、より省エネ・節電に資する活動や選択が市内で行われるように、政策や対策の工夫を講じていきます。



環境マネジメントシステムに取り組んでいる事業者数は、順調に推移しており、目標としていた事業者数 200 に達しました。

この中には、取り組みを開始したものの地域独自の環境マネジメントシステムである「南信州いいむす 21」の認証登録取得には至っていない事業者も含まれており、今後認証に結びつけ、積極的な取り組みを促していく必要があります。また、「南信州いいむす 21」への登録事業所数の伸びも鈍化傾向にあることから、新たに取り組む事業所の拡大も課題です。

加えて、ISO 14001 規格改訂に伴い、「南信いいむす 21」マニュアルの改正を行う必要もあるため、マニュアルの改正とともに登録事業所のネットワークを通じて新たな事業所への参加呼びかけやその促進に資する対策や活動を行っていく必要があります。そのためにも、よりわかりやすく、取り組みやすい制度の構築が求められています。

### 3 施策の柱の達成状況

#### 施策6-1 地域産業による環境負荷低減活動の推進

##### 1 将来的な手順の考え方と現状

	将来的な手順の考え方	H28年度 の状況
第1段階	(1) 「地域ぐるみ環境 ISO 研究会」及び「南信州いいむす 21」の取組みを、更に周知していきます。	◎ 実施中
	(2) 「南信州いいむす 21」の取得希望者への相談と支援を行います。	◎ 実施中
	(3) 「地域ぐるみ環境 ISO 研究会」の活動を一層活性化するために、活動内容を検討します。	◎ 実施中
第2段階	継続的な活動を続けていくため、「南信州いいむす 21」の新規事業所へのフォローアップをしていきます。	◎ 実施中

##### 2 進行を管理する指標

施策指標	単位	H22年度 実績	H28年度 実績	H28年度 目標	達成 状況
環境マネジメントシステムに取り組んでいる事業者数	者	170	205	200	◎

達成状況 ◎：目標達成で、改善傾向    ○：目標達成で、横ばい又は悪化傾向  
 △：目標未達成だが改善傾向    ×：目標未達成で、横ばい又は悪化傾向

### 3 事業の実施状況

事務 事業名	環境マネジメントシステム普及事業
担当課	環境モデル都市推進課
全体 概要	<p>1 環境改善活動を推進させるために ISO 14001 等の認証取得を目指す事業所に対して、相談・支援を実施します。また、事業所の環境改善活動を広げるため、飯田市役所が率先して ISO 14001 をはじめとした環境マネジメントシステム(EMS)を推進します。</p> <p>2 ISO 14001 の認証取得が困難な場合が多い小規模事業所に対するこの地域独自の認証システム「南信州いいむす 21」の普及促進をします。</p> <p>① 「南信州いいむす 21」取り組み宣言の支援、相談</p> <p>② 審査（地域ぐるみ環境 ISO 研究会による）</p> <p>③ 認証取得（広域連合長による）</p> <p>④ ISO 14001 自己宣言を確認支援する「南信州宣言」に取り組む事業所を拡大していきます。</p> <p>3 地域ぐるみ環境 ISO 研究会への支援及び参加</p>
実績	<p>1 ISO14001 推進事業</p> <p>(1) 飯田市役所環境マニュアルの改正</p> <p>(2) ISO 推進に係る外部研修派遣</p> <p>(3) 相互内部監査の実施</p> <p>(4) トップインタビューの開催</p> <p>(5) 自己適合宣言イベントの開催</p> <p>(6) 保育園のいいむす 21・学校のいいむす 21 の運用</p> <p>2 「南信州いいむす 21」推進事業</p> <p>(1) 初級、中級、上級、ISO 14001 南信州宣言取組事業所訪問支援</p> <p>(2) 「南信州いいむす 21」資格審査</p> <p>(3) 「南信州いいむす 21」登録・更新審査</p> <p>(4) ホームページ等を活用した PR 活動</p> <p>3 地域ぐるみ環境 ISO 研究会の組織強化</p> <p>(1) 代表者会、実務者会、事務局会議の開催</p> <p>(2) ぐるみ通信の発行</p> <p>(3) 温室効果ガス削減プロジェクトチーム（いいこそいいだ）への参加</p> <p>(4) 事業所における「CO2 削減一斉行動週間」の実施</p>
指標値	<p>1 (1) 改正回数 1 回 (2) 延べ派遣人数 8 人 (3) 相互内部監査員数 26 人 (4) 参加者数 76 人</p> <p>(5) 参加者数 95 人 (6) 施設数 51 箇所</p> <p>2 (1) 訪問支援事業所数 1 事業所 (2) 資格審査事業所数 10 事業所 (3) 登録・更新審査事業所数 13 事業所 (4) 実施数 19 回</p> <p>3 (1) 開催回数 14 回 (2) 発行号数 23 号 (3) 参加回数 4 回 (4) 実施回数・延べ参加事業所数 2 回・100 事業所</p>
決算額	457 (千円)

事務 事業名	人と環境に優しい農業推進事業
担当課	農業課
全体 概要	環境保全に効果の高い営農活動（カバークロープ等）に取り組む農業者に対して、取組面積に応じた支援を、国と地方自治体（県・市）が行い資源環境負荷の低減を図ります。また、対象となる農法や農業技術が専門的であるため、専門家による学習会で、制度の内容や農法・技術を説明する中で、より多くの農業者に関心をもってもらい、環境負荷低減を実践する農家を増やしていきます。
実績	1 環境保全に資する農業生産活動の普及に関する活動 (1) 農業改良普及センターと連携した講習会の開催 (2) 農産物の販売拡大等に向けた販売業者と農業者等との意見交換会 2 環境保全型農業直接支払交付金への取組拡充 販売農家等への事業説明、交付金申請事務
指標値	1 (1) 講習会 2回 (2) 意見交換会 2回 2 取組農業者 2人
決算額	53（千円）

## 施策6 その他事業の実施状況

事務 事業名	環境保全推進事業
担当課	環境モデル都市推進課
全体 概要	1 環境政策を的確に行うための環境審議会運営 2 環境政策立案、情報収集を行うための事務的一般経費
実績	1 環境プラン第4次改訂に伴う環境審議会及び環境審議会専門部会の運営 2 環境プラン第4改訂版概要版の作成
指標値	1 運営回数 (1) 環境審議会 3回 (2) 環境審議会専門部会 8回 2 作成部数 1,000部
決算額	2,697（千円）